

厚東小

校長室だより



令和8年1月13日



新年明けましておめでとうございます

皆さま、新年明けましておめでとうございます。今年も皆さまにとって、素晴らしい一年となるよう願っております。

さて、いよいよ3学期がスタートしました。始業式当日の朝は寒かったのですが、子どもたちのあいさつの声が体育館の中に響くほど大きな声で、驚きました。新しい年を迎える、子どもたちの、気持ちを新たにして学校生活をスタートしようという思いが感じられました。各学年代表の児童が「新年のちかい」を全校児童の前で発表し、代表以外の児童はそれぞれ教室で話をしました。一人ひとりが新年の新たな目標を念頭におき、いろいろな活動にチャレンジしてくれることを願っています。

始業式では、校長からおよそ以下のような内容の話をしました。3学期も、子どもたちの一生懸命に頑張る姿が見られることを期待しています。

- 今年の十二支は午(うま)、「午年」です。午年について調べると、「迅速な行動」「成果を得るための努力」「何事にも熱心に取り組む姿勢」「自由を愛し、冒険を求める心」「人間関係や社交性」ということが書かれていました。まさに、いつも皆さんに話している、①自分から進んで元気な「あいさつ」をしよう ②「ふわふわ言葉」でいっぱいになるようにしよう ③失敗を恐れずに何事にもチャレンジしよう という内容にぴったりです。今年も、今よりももっと素敵なお自分になるような言動ができると素晴らしいです。皆さんならできます。
- 3学期は1年間のまとめをする大切な学期です。6年生の皆さんには6年間の総まとめであり、いよいよ卒業に向けての仕上げの時期になります。1~5年生の皆さんには、次の学年に進級するために、今できることをしっかりと積み重ねていく時期です。そして、6年生が安心して卒業できるように、5年生が学校を引っ張っていくことになります。全校の皆さんの協力があってこそ5年生の素晴らしい力がより發揮されるので、全員で、今までの厚東小学校の輝く伝統を受け継いでいきましょう。

また、生徒指導担当から「ふわふわ言葉」と「ちくちく言葉」への取組について、「ことばのアンケート」の結果を踏まえ、子どもたちに説明しました。一昨年度と昨年度の自分たち自身の数値と比較して、「ふわふわ言葉」が増え「ちくちく言葉」が減っている学年はしっかりと価値付け、そうではない学年には「あなたたちならできます」とエールを送りました。また、「ちくちく言葉」や「暴力」については、減っただけでは不十分で「〇」にしないといけないことも伝えました。

今年度、「スクールワイド PBS」に学校全体で取り組んでいます。「望ましい行動を育てる」ことを中心に据えて、日々子どもたちに関わっているところです。「ふわふわ言葉」への取組から実践を重ねることで、環境が整っていきます。地域やご家庭でも、引き続き実践していただきますようお願いいたします。

